

訪問教育だより



訪問教育だより第4号
令和8年1月9日発行

国語科 絵本の世界を楽しもう



「3びきのこぶた」 わらべきみか 作

登場する、こぶたやおかあさん、おおかみに、じっと注目して読み聞かせを聞いていました。「好きな場面はどれでしたか」と尋ねると、おおかみがレンガの家を襲おうとする場面で、顔を上げ、口を開けて教えてくれました。

役になりきって、せりふを言ったりや動きをしたりする活動で、選んだのは2番目のこぶたでした。木の家を作る音を、積み木を使って出したり、せりふのところで口を開けたりして表現しました。

「ぴよぴよ」 谷川俊太郎 作

動物の鳴き声や生活音が、オノマトペとしてたくさん出てくる絵本です。「ぴよぴよ」「がしゃん」「とんとん」「つるつる」等の音によく耳をすまして聞くことができました。

皿やうどんに実際に触れてみると、冷たく硬い感触や、弾力があってべたべたする感触に気付いて、手を自分で動かしていました。お皿がカチャカチャとなる音にも良く気付いていました。

触れてから再び絵本を読むと、触れたもののところで、「あ！」という気付きが表情で伝わってきました。



うどんや皿に触れて、音を出したり感触を感じたりしました。

体育科

表現遊びをしよう「おどるんようび」「できるかな？」

曲に合わせて全身を動かす学習をしています。「おどるんようび」は曜日にそれぞれ振付があり、腕を大きく動かしたりゆっくり力を抜いたりすることができました。「できるかな？」は、頭からつま先まで順番に動かしていく体操です。頭を左右に動かしたり、肩を上げ下げしたり、力を抜いて動かすことができました。つま先は、「つま先だよ」と合図を聞くと、自分で動かしてとても上手でした。



指を自分で動かしました！

算数科

「あるかな？ないかな？」

いないいない…ばあ！



目の前にある物に注目し、あったものが隠れたり、現れたりすることに気付く学習をしました。たまごの中から恐竜が飛び出してきたり隠れたり、黒い箱の中からぬいぐるみが出たり隠れたりするのに気付いていました。出てきた物に気付いて物の方向に顔を向けることができました。



あ！出てきた！

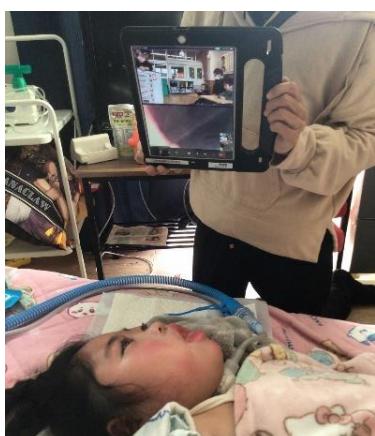
生活科



「きせつとあそぼう あき～ふゆ」

秋から冬にかけての食べ物（柿、焼き芋、みかん、きのこ）や、落ち葉、木の実（どんぐり、まつばっかり、つばきの実）等に触れました。はらはらと落ちるイチョウの葉っぱや、焼き芋や、みかんの匂いに気付いて、顔を動かしました。

複数訪問・交流学級との朝の会



複数訪問では、養護教諭が訪問して、身体測定等を行いました。身体測定では、身長を測るのをじっと動きを止めて待つことができました。身長を測った後で、模造紙の上に寝て、自分の体の型を取りました。ペンで体の周りをなぞっていくのによく気付いていました。自分の体の大きさを目の前で見て、「え！？」と考え込んでいました。

また、一週間後の浅子小中学校との交流学習に備え、リモートテストを兼ねて小学部1組と合同朝の会を行いました。友達の元気の良い朝の歌に驚いていましたが、よく1組の先生の話を聞いて、自分の名前が呼ばれると、大きく上に顔を上げて口を開けて返事をすることができました。